

1. 講師	NPO法人 あおもりNPOサポートセンター 理事長 田中 弘子 氏
2. 内容	<p>◆講師からの説明◆</p> <p>企画のノウハウ～あっと驚く企画のウラわざ～10の伝えるコツ～</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「私は何をしたいのか」を確認しよう いつも事業をやる時に、何のためにやっているのかを忘れてしまうことが多い。何のために事業をやるのか、常にグループで確認し合う。目的、ミッションを考えることが大切である。2. 「誰に何を伝えるのか」を整理しよう 例えばそれぞれの企画を作っただけで終わりではなく、市民に伝えるというように、誰に何を伝えるのかを整理する必要がある。3. 「伝えるメディア」を考えよう 伝える相手と中身によってツールが異なる。ネットワークもメディアの1つ。どんどん皆さんのネットワークを活かして、メディアを使うと良い。4. 「話法」や「文体」を考えよう トーン（調子）とマナー（接し方・話し方）が大事。5. 「デザインの顔つき」を考えよう デザインは第一印象になる。良いデザインを参考にしながら考えること。6. コミュニケーションの「アイデア」を考えよう これは、気分を変える、新しい発想をすること。新しい発想、自分以外の考え方が出てくる。これは、コミュニケーション力につながっていく。7. 似たような「ほかの事業」とくらべてみよう 似ているものを使うのは構わない。伝統的なもの、ポピュラーなもの、若々しいもの、似たようなものなどを参考にすることが大事である。8. 自分たちの企画を「ブランド」だと考えてみよう ブランドだと思えば、あとで評判がついてまわる。それくらいの気持ちをもってやる。9. 支援を要請する「説明のしかた」を考えてみよう 助成金をもらう時の力をつけること。お金がないと事業の継続が困難。申請する力をつけると、ミッションが何なのか振り返られる。プレゼン力をつける。10. 企業の「顧客満足」という考えを参考にしてみよう 頭に常に企業を置く。対象になる人が満足する事業なのかを考える。 <p>以上のことをふまえて、事業の計画を立てながら悩んだときに10のポイントを振り返る。</p> <p>また、壁にぶつかったときはネットワークを大事にすること。そして、危機管理が大事になってくる。何か事業をやる時にはリスクを背負うので、安全、安心のマネジメントを覚える必要がある。「三沢のまちを良くしていきたい」という、まちへの情熱をもう一度思い出すことも大事。できることをやる。無理はしない。頭は常に柔らかくする。このような出合いを大切に。以上のことを踏まえ、ぜひ、みなさんに楽しく動き出してほしい。夢を持つことがどんなに良いことか考えてほしい。何が正しいかではなく、何が大切かを考え、知り、行動を起こしていくことが大事である。</p>



◆グループワーク◆

3つの班にわかれ、各グループの実施計画を作成。最後にまとめを発表。

～各班のまとめ～

【斗南藩と六十九種草堂】

- ・何をしたいのか→斗南藩と六十九種草堂の歴史を伝える
- ・誰に→三沢市民、三沢の子どもたちに伝える
- ・伝え方→紙芝居

子どもたちにわかりやすく、新聞やテレビを活用しながら進める。先人記念館のことを知るためにも情報収集が必要である。読み聞かせの会の人々が紙芝居をやっているようなので、読み聞かせの会の人からも情報収集をする。人物の功績や三沢市の歴史につながるもの、身近にある草花に興味をもってもらう。そして、命を考えてもらう。先のことになるが、紙芝居で児童館等の施設をまわりたい。朗読劇にも発展できればと考えている。六十九種草の植物の展示もできれば良い。また、お茶室の活用、斗南の看板がないので、そのあたりの活用や補強が必要。



【温泉イベント】

三沢市内に12の温泉があるが、知らない人が多いのではないかと。自分たちで直接温泉に行って、泉質など、パンフレットには載っていない情報の収集を行う。次回までに各自で2か所訪問。今後は外国人向けのバスツアーを企画して、それに付随して様々な施設を巡ってもらう。最終的には温泉検定を行いたい。温泉検定にもっていく前に、外国人、おじいちゃんや孫、カップルなどに向けたイベントを企画する。継続的な事業ができればと考えた。



【英語でレシピ】

マックテレビで英語を使った料理番組の企画。三沢の特産物を利用したレシピ、子供向けのレシピ、ヘルシーなレシピを料理の先生を中心にまず考える。月1回もしくは週1回で放送できればと考えている。例えば、キューピー3分クッキングのように、ミラクル3分クッキングとしてみなさんに親んでもらえる番組にしたい。そして、発展的なこととして、料理教室を開催する。例えば、「パパと一緒に英語でお料理」と題し、日米の親子で行う。子どもが喜ぶような料理を外国人の先生に英語で説明してもらう。また、「英語でクッキングで女子力アップ」と題し、日米の女子が参加する料理教室を開催する。料理をツールにし、英語に親んでもらい、最終的には国際交流を行う。



～田中先生より～

9月はもう少し内容を固め、どれくらいお金がかかるのか、など具体的にします。

◆閉会◆